

「ちいさなボランティア活動」

使用済み切手収集のご協力について

厚生調査委員会

厚生調査委員会では「ちいさなボランティア」活動として使用済み切手の収集活動をおこなっています。この活動は、日本キリスト教海外医療協力隊へ使用済みの切手を発送し、その資金を海外の医療活動に役立てています。本日は、この活動と収集方法についてご説明いたします。

使用済み切手の使い道

使用済み切手は日本キリスト教海外医療協力会（イラスト及び写真をHPより引用）を通じて、国内の切手収集家などへ1kg（約5千枚）を約1,800円で買い取ってもらっています。その資金がボランティア活動資金になっています。例として、使用済み切手1Kgでタンザニアの看護学生ひとりの1年分の教科書代になります。

日本キリスト教海外医療協力会について

「私があなた方を愛したようにあなた方もたがいに愛し合いなさい」という聖書の言葉に基づき、アジアをはじめ保健医療が充分でない地域へ協力を行っている海外協力団体のことです。おもに東南アジアを中心に医療人材の派遣、奨学金事業、協働プロジェクトを中心に地域への医療協力を実施しています。

この団体の共感できる場所は地域の人々へ単に物資や資金を寄付することではなく、その地域の人々の自発的な努力を側面から支えることを重点にしているところです。

切手の整理と収集の方法

- * 切手の種類は問いませんが、**外国切手と国内切手**に分けておまとめください。
- * 郵便局でお金を払うと貼ってくれるシール(メータースタンプ)は不可です。
- * 簡易郵便や官製はがきの印刷された切手部分は不可です。
- * 切手を切り取る際、**切手の目打ち（ぎざぎざ）を切り取らない**よう注意してください。（5ミリから1センチ離して切り取る）
- * **台紙（封筒）から切手をはがさない**でください。
- * **ホッチキスや輪ゴムなどでまとめない**でください。切手が傷みます。

以上のように整理した使用済み切手を東京都診療放射線技師会まで郵送もしくは事務所へお持ち込みください。

皆様へのご協力をお願い

ボランティア活動の意義とは、見返りを求めない無償の愛「慈愛」であると思います。本来この精神は医療において基本となる精神であり、私たち医療従事者は一般の人々よりもその理解は深いと思います。しかし、活動となると何をしたいのかわからない方や他人

事のようにとらえている方もいることでしょう。そこで、この活動を通じて会員一人ひとりに「慈愛の芽」を息吹かせ、世界の困っている人々にわずかではありますが、本活動を通じて貢献している自覚を感じ取っていただきたいと思います。

会員皆様が本活動の意味を理解し、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

資料参考) 公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会 <https://www.jocs.or.jp/>

以上